

私たちはボランティア精神のもと
「市民後見人」として、地域社会に貢献することを目指します。

会報/市民後見人の会 No. 194

2024年1月26日発行 通巻No.204号

創刊2007年2月23日

発行/特定非営利活動法人 市民後見人の会

〒140-0014 東京都品川区大井 1-15-1 品川成年後見センター分室3階

TEL : 080-3912-3259 (通話専用 月～金曜日の10時～15時の間対応します。)

TEL&FAX : 03-6303-8265

MAIL : npokouken@gmail.com HP : <http://www.shiminkoukenninnokai.jp>

◆年頭にあたり◆

理事長 高原三平

皆さん、新年はいかがお過ごしでしたか。ただ、元旦に起きた能登半島地震では、多大な被害をもたらした今なお救助活動は難航している状況です。早い、復興を祈るばかりです。

さて、2020年初旬より多大な影響を及ぼしたコロナ禍は2023年5月感染症5類に引き下がったとは言え、その間の行動制限は後見活動に大きな弊害をもたらしました。そんな中、私たちの会は、昨年NPO法人として設立15年の節目を迎え、何かできることはないかと考えた末、記念出版として「NPO法人市民後見人の会の歩み(資料集)」を計画し、昨年11月に刊行することができました。18名の編集委員の方々、また会員の皆さまの協力に感謝申し上げます。

グラビア「会員の年代別構成」を見ますと、10年間の違いが顕著です。2011年では70代以上が、11名(全体比率11.6%)だったのが2022年では38名(41.3%)と大きく比率が延びています。本会が受任した54件の被後見人等の受任時平均年齢が80.98歳です。被後見人の年齢に近い会員が少なくないのです。身上保護に重点を置く私たちにとって、これはむしろ「強み」と考えた方がいいのではと思います。

誠に残念ですが昨年末、二人の被後見人の方が天に召されました。一人は9年、あと一人は7年と長きにわたりお世話させていただきました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

さて、本年の所信として昨年に続き、「後見人を確実に務める」「市民後見人活動を地域に根付かせる」「活動が楽しい会」の3点を掲げたいと思います。それぞれ、イ)会の運営の効率化(事務局の充実他)、ロ)広報のさらなる充実、ハ)いろいろな交流の場を設ける、

また参加する、を展開軸にできればと考えております。

2025年問題が叫ばれて久しいわけですが、いよいよあと1年と迫ってきました。団塊世代（約800万人）が後期高齢者となり、少子高齢化社会が進み、労働者人口の減少により社会保障の負担が増えるといった負のスパイラル現象が予想されています。そんな中、本会は、地域住民である私たちが、ボランティア精神を基本として、認知症高齢者等後見を必要とする人のために後楯となり活動しているわけです。まさに今必要とされる社会貢献です。自信とプライドを持って前進しましょう。

◆監督人・後見人等連絡会◆

理事・後見部会長 齋藤裕二

後見部会主催の「監督人・後見人等連絡会」を以下のとおり開催しました。

日時：2024年1月15日（月）15時～16時

場所：品川区社会福祉協議会会議室

参加者：品川区社協 高橋愛係長以下3名

当会 高原三平理事長以下5名

討議内容

- 1、今後の新規案件受任意向の確認があり、当会は受任することは可能と回答した。
- 2、社協監督担当と当会の後見担当者の顔合わせ（案件説明）の開催日程について～当会の「情報交換会」の開催日程の変更で対応する方針。7月より平日午後開催で検討中。決定次第連絡する。
- 3、活動中案件の状況報告
 - ・特養に転所する案件を2件報告。
 - ・推定相続人が多数いながら誰からも接触がなかった案件で、被後見人が死亡したケースが発生したが、もっと早期に郵便等で連絡を取り、親族の反応を確認しておくべきだった。この教訓を今後の受任当初の活動に生かしたい。
- 4、12月開催の「業務指導委員会」の概要を報告した。
- 5、その他
 - ・10万円を超える領収書の報告書添付についてのルール再確認
 - ・新規受任時に空き家になっているアパートでの、キーボックスの扱いに注意が必要との認識を共有した。（55号で第三者が入室した形跡あり）

次回開催日程：4月15日（月）15：00～



◆月曜カフェ◆

第45回月曜カフェが次のとおり開催されました。

日時：1月22日（月）10時-12時 場所：荏原第五地域センター

司会・準備：馬庭俊一郎会員、大岡朋子会員 参加者：会場13名 ZOOM4名

スピーカー：岡部裕子 テーマ：私の極私的な後見活動体験談

馬庭会員の挨拶により開始し、岡部さんから自分自身の人生歴から本会へ入会した経緯、その後の後見活動を熱心に語って頂きました。

「被後見人のAさんの担当となった時、Aさんは88歳。少年兵として太平洋戦争に出兵し爆撃を受け片足を切断した方でした。本会が受任した時、施設に入所していて奥様（本会が同じく受任）とはそれぞれ別の施設にいました。コロナ下で夫婦会えない状況だったが何とかお二人を会わせてお互いの手を握らせる事ができて良かったと思います。その後Aさんは亡くなられ後見業務は終了しましたが、その人の人生をかいま見る事ができる、それは後見のだいご味かも知れません」

岡部さんのスピーチの後、参加者全員が現在思っている事、疑問に思っている事等々を発言し交流を深めることができ、有意義な2時間でした。



◆2023年度12月度理事会議事録◆

理事・事務局 馬庭俊一郎

1. 開催日時 2023年12月18日（月）15時00分～17時00分
2. 開催場所 社協ボランティア活動室（1003号室）
3. 出席理事 齊藤裕二、杉谷徹夫、杉山麻里子、高原三平、馬庭俊一郎各理事
4. オブザーバー 小川雅之監事

〈協議事項〉

①会計業務について

別添資料にて今年度の会計経理業務への対応について協議した。（継続協議）

②専門性業務に対する謝金及び外部委託について

別添資料にて協議した。（継続協議）

③2023年度市民後見人養成講座について

別添資料にて報告があった。今回より研修内容、教材が大きく変更されることから

会員の受講を受け入れることを決めた。

④総会に向けての日程について

別添資料にて協議した。

⑤中期日程（2024年1月～6月）について

別添資料にて協議した。

<報告・連絡事項>

①被後見人の死亡について（2件）

34号11月24日ご逝去（享年86歳）、14号12月12日ご逝去（享年93歳）の報告があった。

②業務指導委員会（12月11日開催）について

別添資料にて報告があった。

③設立15周年記念出版について

別添資料にてこれまでの総括報告があった。

④後見活動状況について

14, 34, 50, 51, 53, 54, 55, 任意1の各号について報告があり各号の状況を共有化した。

⑤施設訪問同行について報告があった。

⑥スキルアップ研修&忘年会（12/16開催）について

スキルアップ研修20名参加、忘年会17名参加との報告があった。

⑦令和5年度品川区成年後見制度地域連携ネットワーク交流会について

別添資料にて報告があった。（高原理事長出席予定）

⑧第45回月曜カフェ（2024年1月22日開催）について報告があった。

⑨社協支援員活動状況アンケートについて

アンケートの回答状況について報告があった。

⑩事務局委員の動向について報告があった。

<今後の予定>

- ・後見記帳日 1月4日（木）
- ・部会長連絡会 1月9日（火）
- ・監督人・後見人等連絡会 1月15日（月）15時
- ・理事会 1月15日（月）17時
- ・第45回月曜カフェ 1月22日（月）10時
- ・令和5年度品川区成年後見制度地域連携ネットワーク交流会 1月22日（月）10時
（冬休み 12月28日～1月3日）

能登半島地震、「政治とカネ」と気持ちが晴れる事の少ない年明けです。そういう中でせめて会員同士、交流を深め前を向いて行ければと思います。今年もよろしく願い致します。（編集 金城 清）